

令和7年度 第1回東海村総合教育会議 議事録

日時	令和7年11月14日（金） 10:00～11:30
場所	東海村役場行政棟 庁議室
出席者	山田 修村長，伴 敦夫教育長，藤田 秀美教育長職務代理者，渡辺 克平教育委員， 小林 祐子教育委員，棚嶋 裕季子教育委員
議題	東海村教育振興基本計画2026-2030について 【委員からの意見】 <基本理念・基本理念が目指す教育の方向性，計画の体系について> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現計画や国・県の方針を踏まえており，特に指摘すべきことはない考える。 ・ 前計画の5つの柱から3つの項目に整理され，より洗練された計画になった。 <施策の内容，小・中学生へのアンケート結果について> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学校教育の充実」の部分で，教育委員会の指導主事による学校訪問や教職員向け研修会を通して…とあるが，教育委員会だけでなく学校の校内研修や管理職の指導助言を通して連携し，双方で取り組むのが現実的ではないか。 ・ 児童生徒の支援の充実の目標値として，再登校率を掲げるのはいかがなものかと感じた。 ・ 部活動の地域展開について，運動部については令和8年度に完了することのだが，吹奏楽部などは場所，楽器，指導者確保などが課題となっている。ひたちなか市の例を参考にすると良いのではないか。 ・ 小・中学生へのアンケート結果については，子どもたちの率直な声が多く，非常に有益である。 ・ 学校現場にもアンケート結果を共有してほしい。
	村立小中学校における完全2学期制移行について 【委員からの意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の理解が十分得られていると思う。 ・ 2学期制になることで，前期と後期に分けてじっくり学習できるという利点がある。 ・ 先生方の実情や意識がどのように変化するのか，実態を確認しておくが良い。 ・ 夏の個別面談が非常に重要なので，各学校で大切にしてほしい。 ・ 他県では通知表をなくした市町村もあるそうなので，子どもを評価することを小学校でどのように考えていくのか，他県の先進例を参考にしながら研究していただきたい。
次回日程	未定